容リ法プラ・シュレッダープラのリサイクルに関する合同講演会

ー容器リサイクル法の見直しを基に、リサイクルを仕分けして強靭なシステムを構築するー

定着したリサイクルのサステナビリティーを強化していくには、やはり仕分けによる効率化が重要なポイントになる。容器リサイクル法は見直しの動きが高まり、集約の努力がなされている。シュレッダープラも家電メーカーによるマテリアルリサイクルの取組みや、自治体による燃焼の高度化も進んでいる。プラスチックリサイクルに関わる 4 つの学会が初めて連携し、プラスチックリサイクルの将来、特にビジネスとしての可能性を議論することになりました。ぜひ、多くの気になる意見を聞かせていただければ幸いです。

〔共　催〕　廃棄物・資源循環学会（リサイクルシステム技術研究部会）
プラスチックリサイクル化学研究会
日本エネルギー学会（リサイクル部会）
高分子学会（グリーンケミストリー研究会）

〔日　時〕　２０１１年3月１６日（水）　９～１７時

〔会　場〕　日本大学理工学部駿河台校舎１号館６階ＣＳＴホール（東京都千代田区駿河台１－８－１４）
地図：http://www.cst.nihon-u.ac.jp/campus/google.html

〔交　通〕　JR 御茶ノ水駅、聖橋口改札出口より徒歩3分

〔定　員〕　100 名（事前申込み制）

〔参加費〕　一般 10,000 円　　共催学会の部会会員 5000 円。
学会当日、受付にて申し受けます。学会部会名で領収書を発行

〔講演時間〕　40 分（講演 30 分＋質疑 10 分）

〔プログラム〕　http://www.jswme.gr.jp/recycle/

＜ 9：00～ 9：10＞　開会の挨拶　（日大）澤口孝志

第１部：シュレッダープラスチックのマテリアルリサイクル　座長（プラ処理協）山脇隆

＜ 9：10～ 9：50＞　家電混合プラスチックの大規模リサイクル事業　（三菱電機）井関康人

＜ 9：50～10：30＞　乾式法による素材プラの一貫選別　（パナソニック）小島環生

＜10：30～10：40＞　休憩

第２部：シュレッダープラスチックリサイクルの可能性　座長（千葉大）中込秀樹

＜10：40～11：20＞　混合プラ湿式２段選別とウレタン RPF 化　（中部エコ）篠原勝則

＜11：20～12：00＞　プラ処理の向かうべき方向　（プラ処理協）井田久雄

＜12：20～13：00＞　食事休憩

第３部：ガス化、油化の可能性　座長（中部大）行本正雄

＜13：00～13：40＞　ガス化溶融の能力と用途　（ＪＦＥエンジ）内山武

＜13：40～14：20＞　小型油化　（エクアール）尾形博文

＜14：20～14：30＞　休憩

第４部：容器リサイクル法は何を目指すか！　座長（東北大）吉岡敏明

＜14：30～15：50＞　パネラーの説明（各 20 分）

パネラー：（大木町）境公雄、（富山環境整備）松浦英樹、（プラ工連）勝浦嗣男、（国環研）森口祐一

＜15：50～16：50＞　パネルディスカッション

＜16：50～17：00＞　閉会の挨拶　（中部大）行本正雄

＜17：00～19：00＞　懇親会　２階食堂　参加費3000円

参加要領

以下を明記のうえ、メールまたはFAXで申込みください。

・参加者名（ふりがな）、所属先（部署まで）、連絡先住所、電話番号、E-mail、懇親会参加の有無。

・申込先：廃棄物・資源循環学会、リサイクルシステム・技術研究部会、講演会係、担当早田

terunobu2.hayata@glb.toshiba.co.jp　fax:045-506-1102　tel：045-510-6774

・なお、事前受付制（当日参加は不可）。当日キャンセルは参加費を請求。会員優先。お断りすることあり。

以上